

発行所 近畿税理士政治連盟 発行人 南出力利 編集人 後安宏彦

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 電話(06)6944-9040 FAX(06)6944-9050 URL <http://kinzeisei.jp/> MAIL info@kinzeisei.jp

「線路」(滋賀県大津市)

撮影：旭支部 川崎哲之

焦点

ことしの夏は暑く長かった。そのせいか、ツクツクボウシの鳴き声が聞こえたのは、例年よりずいぶん遅かった。この頃に支部連、近税政、日税政の定期大会が順々に開催される。

近税政の定期大会は、この1年間の運動を総括し、今後1年間の運動方針を決める重要な大会であり、会員50名ごとに1名の割合で選任された代議員が決議を行う代議員制である。この制度は、より深い議論が可能となり大会費用も少なく済む一方、個々の会員にとって税政連活動が見えにくくなり無関心に繋がっていると指摘される。

この長所を生かしつつ短所を補うため、諸施策の検討が必要ではないだろうか。例えば、

代議員の選任にあたっては税理士会の支部長など支部役員の方々を代議員に推薦する案は如何であろうか。税制改正や税理士法改正など税理士会の要望を実現するため国会議員等に働きかけをする税政連の活動はオーナー課税制度の廃止等の成果を得ている。このような活動を税理士会の役員でもある代議員に理解して頂くとともに、それを税理士会支部に持ち帰り支部会員に税政連の役割とその重要性を伝達して頂くことにより、税理士会と税政連の力が相互に結合することになる。その結果、税政連活動が身近なものとして見えやすくなり、税政連がより機能するものと考えられる。

当月号では、定期大会の特集を組み、会員への広報を行っているので是非ご覧頂きたい。

第44回定期大会 会長あいさつ

昨年8月30日の第45回衆議院議員総選挙で民主党への政権交代が行われました。これにより税制改正等における法案の審議プロセスが政治主導の手法へと大きく変わり、これまで以上に国会議員等との接触や勉強会、陳情等が必要になっています。さらに、本年7月11日に第22回参議院議員通常選挙が実施され、与野党が逆転しねじれ国会運営の状況となり関連する法案の成立の見通しが不透明になっています。



会長 南出力利

このような状況のもと、当連盟では、日税連、日税政や近税会、税理士による国会議員等後援会と密接な連携を図りながら、国会議員等との政策・制度の勉強会や政策要望懇談会に参加して意見交換を行ってまいりました。これらの活動を通じて、平成22年度税制改正において重点要望項目であった特殊支配同族会社の役員給与の損金不算入制度の廃止が実現され、大きな成果を得ることが出来ました。さらに、政府税制調査会の専門家小委員会、行政刷新会議、規制改革に関する会議等に相次いで税理士が委員等に選任されました。このことは我々の意見が公正なものであると強く訴えてきたことが国会議員等に理解を得た結果であり、まさに税政連活動の成果であります。

税理士業界が直面している重要項目である税理士法改正では、日税連が14項目の改正要望項目を公表したところであり、改正に向けていよいよ税政連の力を発揮する年になりました。将来に希望の持てる、そして国家の財政の基盤を担う税理士制度の維持発展を目指すためにも、税理士会と連携しながらこの問題に全力で取り組む決意であります。また、平成23年度税制改正に向けて、11項目からなる税制改正要望を取りまとめその実現を目指していく所存であります。

納税者に信頼される税理士制度の維持発展及び税理士業務の無償独占、強制入会制度の堅持並びに納税者のための公平な税制確立を目指し、引き続き当連盟は国会議員等への要望陳情活動を行ってまいります。それとともに、会員の皆様方には税政連活動の意義を伝えながら理解を深めていただき、一人ひとりが自覚をもって積極的に参加して頂けるように活動を行ってまいります。我々は税務の専門家であり法律に基づいて業務を行っていますが、その法律は国会の場で審議が行われ成立していきます。税理士業界をとりまく問題は法律に関するものであり、現在の国会の政治状況から、税政連は一層重要な役割を担うこととなります。税理士制度のさらなる発展と納税者のための公平な税制の確立を目指して、税理士会とともに2人3脚で積極的に活動を進める決意であります。

税政連の財政基盤の充実を含め、会員諸先生方のなお一層のご支援ご理解をお願いし、ご健勝とご事業の繁栄を祈念いたしましてあいさつといたします。

目次

定期大会会長あいさつ	2
第44回定期大会・国政報告会・懇親会	3
支部連ニュース	8
後援会ニュース	11
公明党大阪府本部「政策要望懇談会」	14
平成23年度税制改正要望が決定	14

連載

焦点	1
かんさいすずめ	14

第44回定期大会・国政報告会・懇親会

～9月6日(月) 帝国ホテル大阪～

定期大会

9月6日、第44回定期大会が帝国ホテル大阪「孔雀西の間」において開催された。司会の石原牧選対委員長が開会宣言、過去1年間に亡くなられた会員に対して黙祷を捧げた。

次に来賓として池田隼啓日本税理士会連合会会長、山川巽日本税理士政治連盟会長、宮口定雄近畿税理士会会長、内藤信子東京税理士政治連盟会長、寺脇敏彦東京地方税理士政治連盟会長、濱田健名古屋税理士政治連盟会長代理、宮田義見日本税理士会連合会専務理事、当連盟の相談役の紹介があった。

議事に先立って、南出力利会長が挨拶をした。

次に議長として明石支部の田中勇治代議員、泉佐野支部の呑海英治代議員が選任され議事を進行した。

第1号議案について井戸本泰次幹事長より説明があり、税制改正の取組みでは緊急かつ重要な12項目の要望を関係国会議員に対し陳情したこと、また最大の懸案であった「特殊支配同族会社の役員給与の損金不算入制度」の廃止を実現したこと、規制改革等の取組み、登録政治資金監査人制度への取組み、公職選挙に対する支援活動、財政問題等々についての運動経過の説明があった。



田中勇治議長(左)、呑海英治副議長



井戸本泰次 幹事長

第2号議案の収支決算については、橋本光世財務委員長より各項目について具体的な説明がされ、木下雅裕会計監事から適正であるとの監査報告があった。質疑応答が2件されたあと、第1号、第2号議案とも賛成多数で可決された。

第3号議案について井戸本幹事長より、1. 進展する社会の要請に応え得る税理士制度の確立 2. 公正で合理的な租税制度の確立 3. 税理士の社会的地位の向上と権益の確保、拡充という目的達成のためという基本方針の下、税理士による国会議員等後援会の活動の活性化と組織の拡充を強力に推進するという説明がなされた。

第4号議案については田達満政策委員長から、7委員会の活動を強力に推進するという活動方針を説明された。

第5号議案については橋本財務委員長より平成22年度の収支予算の説明がなされた。

第3、第4、第5号議案について質疑質問もなく賛成多数で承認可決された。

最後に第6号議案については、田政策委員長より5項目の大会決議が読み上げられ、賛成多数で承認された。

議事が終了後、5人の代議員によって大会決議文が1項目ずつ声高々に読み上げられた。

そして、会費収納について顕著な収納率を挙げた支部連合会および支部に対しての表彰があ



大会決議文朗読(左から)小西里枝、
西村靖彦、北村光一郎、渡部高之、
中川欣哉各代議員

り、和歌山県及び兵庫第4の両支部連合会、並びに天王寺、和歌山、門真、峰山、吉野の各支部が南出会長より表彰された。

その後来賓5名から、祝辞が述べられた。

池田会長祝辞

「あるべき税制の実現に向けて真摯に取り組むことが我々の使命と考えている。日税連の今年度の最重点施策は、税理士法の改正である。将来の税理士制度に禍根を残すことのないように、また、時代に即応した社会制度として認められ、多くの若者が夢と希望を持ってこの業界を目指す受け皿を作りたいと考えている。日税連においては、税理士法改正の特別委員会を立ち上げ、国税庁及び主税局と勉強会を行うこととしているが、最終的に法律案は国会で決議されるものであり、これからが政治連盟の出番である。さらなるご協力をお願い申し上げます」

山川会長祝辞

「平成22年度税制改正において法人税法35条の廃止という大きな成果を得ることが出来た。また、参議院選挙においては37名の推薦候補者が当選を果たした。近畿税理士政治連盟をはじめ地域に密着した単位税政連の活動の賜物であると感謝申し上げます。税理士法改正については、日税連の特別委員会に参画し活動を強化していく。民主党政権は政治主導を基本としており、税政連の果たす役割が一層重要である。すべての税理士が政治活動に誇りと使命感を持って参加することを願っている」

宮口会長祝辞

「税政連の活動は、税理士会の建議権を実効性のあるものにする活動である。公認会計士試験制度の見直しは、税理士資格の付与の問題が不可分であり、我々自身の問題であると理解しなければならない。不合理のないように断固として意見を述べていくが、すべての税理士も意見を持って税理士会、税政連の活動に反映させていくことが必要である。そして、近税会と近税政の連携強化が必要である。今後も手を携えて業界発展のために邁進していきたい」

最後は佐野吉延副会長が閉会の挨拶をして、定期大会は終了した。(石井碧八)

国政報告会

第44回定期大会に引き続いて、桑野秀朗国対委員長の司会により、国会議員による国政報告会が開催された。本年度は、7月11日に行われた第22回参議院議員通常選挙からまだ日が浅いこともあり、11名の国会議員の出席があった。各議員からは、日頃の支援に対する感謝の言葉、今年度の税制改正・次期税理士法改正をはじめ、急激な円高による経済停滞懸念払拭・雇用創出に向けた取り組みなどについて、報告があった。

国政報告会に出席した国会議員は、登壇順に、平野博文衆議院議員(民主・大阪11区)、山口壯衆議院議員(民主・兵庫12区)、西野あきら衆議院議員(自民・大阪13区)、松本剛明衆議院議員(民主・兵庫11区)、竹本直一衆議院議員(自民・比例近畿)、梅村聡参議院議員(民主・大阪府)、鴻池祥肇参議院議員(自民・兵庫県)、滝実衆議院議員(民主・奈良2区)、中野寛成衆議院議員(民主・大阪8区)、西田昌司参議院議員(自民・京都府)、松浪健太衆議院議員(自民・比例近畿)。

代理出席は、前原誠司国土交通大臣(民主・京都2区)、田野瀬良太郎衆議院議員(自民・奈良4区)、松岡広隆衆議院議員(民主・比例近畿)、福山哲郎参議院議員(民主・京都府)、松井孝治参議院議員(民主・京都府)。(順不同)



池田隼啓 日税連会長



山川巽 日税政会長



宮口定雄 近税会会長



内藤信子 東京税政連会長



寺脇敏彦 東京地方税政連会長



濱田健 名古屋税政連幹事長

最後に、久保直己副会長より「本日の国政報告会へ多数の国会議員に参集賜り、お礼申し上げます。公平な税負担・理解と納得できる税制・必要最小限の事務負担・時代に適合する税制・透明な税務行政という視点を基本に、日税連と日税政が共同してまとめた平成23年度税制改正に関する要望および次期税理士法改正についての要望の実現に向けたご支援とご尽力を願う」との挨拶があり、国政報告会は閉会した。

(川崎哲之)

懇親会

国政報告会に引き続き、後安宏彦広報委員長の司会により懇親会が開催された。開会挨拶、来賓挨拶の後、中野寛成衆議院議員が乾杯の発声を行い、国会議員等が一人ずつ登壇し、挨拶および国政報告を行った。

懇親会から参加した国会議員等は、到着順に石川博崇参議院議員(公明・大阪府)、松岡広隆衆議院議員(民主・比例近畿)、白浜一良参議院議員(公明・大阪府)、左藤章元衆議院議員(無所属)、渡嘉敷奈緒美前衆議院議員(自民)、北

川知克前衆議院議員(自民)、末松信介参議院議員(自民・兵庫県)、中馬弘毅前衆議院議員(自民)。

首長・地方議会議員(税理士会会員)は、到着順に野田義和東大阪市長、吉田稔加西市議会議員、中谷廣一寝屋川市議会議員、権世幸蔵大阪市議会議員、栗原貴子豊中市議会議員、水ノ上成彰堺市議会議員、新田孝大阪市議会議員。

代理出席は、藤村修衆議院議員(民主・大阪7区)、石井登志郎衆議院議員(民主・兵庫7区)、西村康稔衆議院議員(自民・兵庫9区)、高市早苗衆議院議員(自民・比例近畿)、二階俊博衆議院議員(自民・和歌山3区)、柳本卓治衆議院議員(自民・比例近畿)、北川イッセイ参議院議員(自民・大阪府)、おだち源幸参議院議員(民主・大阪府)、谷川秀善参議院議員(自民・大阪府)、中山泰秀前衆議院議員(自民)、大塚高司前衆議院議員(自民)、原田憲治前衆議院議員(自民)北側一雄前衆議院議員(公明)、奥野信亮前衆議院議員(自民)。(順不同)

(川崎哲之)

第44回定期大会 国政報告会



平野博文 衆議院議員



山口 壯 衆議院議員



西野あきら 衆議院議員



松本剛明 衆議院議員



竹本直一 衆議院議員



梅村 聡 参議院議員



鴻池祥肇 参議院議員



滝 実 衆議院議員



中野寛成 衆議院議員



西田昌司 参議院議員



松浪健太 衆議院議員



石川博崇 参議院議員

・懇親会 来賓国会議員等



松岡広隆 衆議院議員



末松信介 参議院議員



左藤 章 元衆議院議員



渡嘉敷奈緒美 前衆議院議員



北川知克 前衆議院議員



中馬弘毅 前衆議院議員



野田義和 東大阪市長



吉田 稔 加西市議会議員



中谷廣一 寝屋川市議会議員



権世幸蔵 大阪市議会議員



栗原貴子 豊中市議会議員



水ノ上成彰 堺市議会議員

支部連ニュース

大阪府第1支部連

大阪府第1支部連合会(東、南、西、港、天王寺、浪速、生野、阿倍野、東住吉、住吉、西成)第15回定期大会が8月26日、天王寺東映ホ



河南正明支部連会長

テルにおいて開催された。来賓として、井戸本泰次近税政幹事長、柳本卓治後援会山下孝士会長、中馬弘毅後援会石井基行会長、左藤章後援会鮎川純利会長が出席した。

司会の細川雅敏支部連幹事長が開会を宣し、河南政明支部連会長より、昨年8月の衆議院選挙及び本年7月の参議院選挙の電話戦術に対してのお礼、確定申告期の国会議員による税務相談会場視察に対応された支部連役員へのお礼、政治活動の重要性と会費収納についての協力要請の挨拶があった。

岡野誠一会員が議長に選出され議案審議に入り、第4号議案まで滞りなく承認可決された。

続いて、井戸本近税政幹事長が、この3年間で税政連の税制改正要望のうち、留保金課税・欠損金の繰戻還付・特殊支配同族会社役員給与の3項目が実現し、本年度は更正の請求の期間制限が重点であり、税理士法改正たたき台14項目の周知と、公認会計士制度改革の動向などを熱く語った。

次に、国政報告・政治活動報告では、柳本卓治衆議院議員は、税理士法改正問題への取り組み、税制改正についても同様に議論を展開する

必要性などを報告した。

おだち源幸参議院議員秘書は、おだち議員が民主党税制調査会委員に内定した旨を報告した。

中馬弘毅前衆議院議員は、今般俎上に上がっている納税者番号制度や消費税改正論議については、従来より自民党税制調査会において税制改正問題に取り上げてきた旨などを報告した。

左藤章元衆議院議員は、国際会計基準への対応や規制緩和の中での資格制度の見直しについては、再検討する必要がある旨などを報告した。

引き続き行われた懇親会では、河南支部連会長より、昨年は衆議院選挙の直前であったため懇親会が開催されなかったので2年分懇親を深めてお帰りくださいとの挨拶により開会し、盛会の中散会した。(柏 之雄)

大阪府第2支部連

大阪府第2支部連合会(北、大淀、旭、福島、東成、城東、西淀川、東淀川、門真、枚方)第15回定期大会が8月30日、ホテルモンテ・ラ・スール大阪において開催された。



上田実支部連会長

来賓として近畿税理士政治連盟から、井戸本泰次幹事長が出席した。

旭輝明支部連幹事長が開会を宣し、上田実支部連会長が「昨年9月の会長就任以来、初めての国政選挙である今年7月の参議院議員選挙において、当支部連が推薦したおだち源幸候補者

が当選を果たしたのは、ひとえに、役員、会員各位のご協力の賜物であり感謝申し上げます」と挨拶があった。

次いで、上田支部連会長が議長に選任され、平成21年度運動経過報告及び収支決算承認の件が上程され、議案説明と監査報告を行った後、採決され承認可決された。続いて、平成22年度運動方針案及び収支予算案承認の件が上程され、原案通り承認可決された。

議事終了を受けて、来賓として井戸本近税政幹事長から、昨年10月の平野博文官房長官への表敬訪問の際の、「税理士制度の審議には、ぜひ税理士のことを充分理解された方を登用願いたい」との要望に対しての長官の迅速な対応に感銘を受けたこと、また、今後の税理士法改正の現状と、それに対する近税政の取り組みなどについて報告があった。

続いて、国政報告会が開催され、谷口隆義前衆議院議員、北川知克前衆議院議員、中山泰秀前衆議院議員、平野博文衆議院議員がそれぞれ登壇した。

報告会終了後、懇親会が、南中平八郎支部連相談役の乾杯で開会し、おだち源幸参議院議員が国政報告と7月の選挙応援に対する謝辞を述べた。その後、来賓を交えて和やかに懇談し、中山寿光前支部連会長の中締めの挨拶をもって盛会のうちに閉会となった。(川崎哲之)

大阪府第3支部連

大阪府第3支部連合会(吹田、豊能、茨木)第29回定期大会が8月20日、吹田市文化会館のメイシアターにおいて開催された。

来賓として近畿税理士政治連盟から、今中英雄副会長、田達満政策委員長が出席した。

九鬼章泰支部連幹事長が開会を宣し、上西通氏支部連会長が「昨年8月の衆議院総選挙では第3支部連6つの後援会のうち藤村修、中野寛成、松浪健太の3名が当選を果たした。民主党が歴史的な勝利を収め、永年の悲願であったオナー課税の廃止が実現したことは、税政連活

動の大きな成果である。これからも要望実現のために頑張っていきましょう」とあいさつがあった。



上西通氏 支部連会長

次いで高橋勝彦支部連相談役が議長に選任され、すべての議案が原案通り承認可決された。

議事終了後、今中副会長は「今夏の参議院選挙に際して尾立源幸候補が当選したのは会員皆様のお陰である。これからも我々の要望実現のために後援会活動をますます活発にしていくことが肝要である」田政策委員長は「税政連の今年度重点施策は、税理士法の改正である。特に公認会計士に対する資格付与の問題を注視していかなければならない」とあいさつがあった。

その後懇親会に移り吉川武男支部連副会長が開会を宣し、小島隆支部連副会長の乾杯の後和やかに歓談し、小椋榮和支部連副会長の中締めのあいさつをもって盛会のうちに閉会となった。(村木眞志)

兵庫県第2支部連

兵庫県第2支部連合会(明石、加古川、洲本、三木、西脇、社)平成21年度定期大会が、8月31日、午後4時よりグリーンヒルホテル明石において開催された。

来賓として徳富勲近税政副会長、河田秀雄近税政副幹事長が出席した。

北村光子幹事長の司会により、河井正美副会長が議長に指名され議案の審議に入った。平成21年度における運動経過報告、収支報告書及び財産目録並びに平成22年度運動方針及び収支予



北村光子支部連幹事長

算案の説明があり、質疑の後、承認された。

総会終了後、泉正紀副会長より挨拶があった。来賓の徳富近税政副会長から「税理士の地位向上、職域拡大は、立法により実現する。そのために後援会活動を通じて我々の要求を国会議員に伝えなければならない。兵庫4区、10区では税理士に対して理解の深い自民党の議員が落選したが、当選した民主党議員の後援会は発足していない。今後の課題である」との挨拶があり、次いで、河田近税政副幹事長より「民主党政権下では法案成立前に意見を徴するいわば事前型陳情というべき方法が可能となっている。これも政権交代前から、後援会活動を通じて議員との接触を続けていた努力が報われたものと考えている」と挨拶があった。

森信博副会長の閉会のことばで、定期大会は無事終了した。

引き続き、役員会が開かれた。田剛副会長の挨拶の後、徳富近税政副会長から「近畿税政連のしおり」をテキストとして、近畿税理士政治連盟の現状と方向性についての説明と「税理士による後援会」活動の重要性の説明があった。議題として政治連盟会費の収納について討議され、収納率の良い支部の取組みなどが紹介された。今後の大会運営として代議員の選出についての方法が討議され、(支部毎の代議員数と代議員は役員以外から選出し、より多くの税理士に税政連の活動に参加を求めるとの合意を得た。役員会終了後、高見昌克副会長の挨拶と乾杯の発声により、懇親会が開催され、和やかなうち

に照屋さつ子副会長の中締で散会となった。

(星川啓明)

和歌山県支部連

和歌山県支部連合会定期大会が平成22年8月28日、和歌山市のホテルグランヴィア和歌山において開催された。来賓として、近税政本部より、井戸本泰次幹事長が出席した。



後安宏彦 支部連会長

司会の鶴島幸夫会員が開会宣言をし、後安宏彦支部連会長が「今回は当支部連内で税理士による岸本周平衆議院議員の後援会が設立された。税理士会の要望実現のために存する税政連の役割を理解して頂き、更なるご支援ご協力をお願いしたい」と挨拶した。

次に山西輝明会員が議長に選ばれ議案審議に入り、全て原案通り承認可決された。

続いて、井戸本近税政幹事長が、税理士法改正問題や公認会計士資格問題の現状と今後の対応などを中心に挨拶をした。

第2部では、岸本周平衆議院議員、鶴保庸介参議院議員が出席し税制改正などについて国政報告会を行った。二階俊博衆議院議員、世耕弘成参議院議員は秘書による代理出席であった。その後、各議員に、税理士法第1条・第49条の11の説明を行った後、平成23年度税制改正の要望書を渡し、その実現に向けての協力の要請を行った。

引き続き、懇親会が開催され、岸本議員、鶴保議員は会員と最後まで懇談を行い、盛会のうちに閉会となった。(支部連より寄稿)

後援会ニュース

松浪ケンタ後援会

税理士による松浪ケンタ後援会第2回定期大会が、7月23日、高槻市民文化会館において開催された。来賓として、近税政本部より井戸本



谷丸八郎後援会会長

泰次幹事長、大阪府第3支部連より平山直樹副会長及び原田憲治後援会田中啓允会長が出席した。

皆元利一副会長の司会により始まり、開会宣言の後、議長に長井良明相談役が選出され、直ちに議案審議に入った。議案については各担当副幹事長から説明があり、第1号から第4号の各議案につき慎重に審議され、原案どおり満場一致で承認可決された。続く第5号議案は、任期満了となった役員の変更案が上程され、全会一致で承認可決された。

続いて谷丸八郎後援会会長が「先の参議院選挙では自由民主党が議席を伸ばしたが、自由民主党の回復はまだ遠いと感じている。国民の生活に直結する税制等の課題をはじめとする諸問題の解決のため尽力して欲しい。後援会は、税理士業界及び中小企業の発展のために活躍していただける国会議員を推薦するものであり、松浪健太議員を全面的に支援する」と力強く挨拶した。

松浪健太議員は東京での公務のため、松浪夫人が登壇「前年の衆議院選挙では、自由民主党大逆風の中、連日の支援を頂き無事当選できた

ことを思い起こし、改めて感謝と御礼をする。近況報告として松浪健太は、自由民主党に新風を吹かせるべく、また党再生のため、日々国会で活動をしている。今後とも、支援をお願いしたい」と挨拶した。

続いて井戸本幹事長が、従来と様変わりして政治主導で行われている税理士法改正の動向等を報告し、「税理士制度は税理士業界のためだけでなく、国民、納税者のための制度であり、松浪後援会においても税理士法改正について勉強会をぜひ開催していただきたい。松浪議員の今後の活躍をお願いする」と述べた。

寺本達生幹事長が閉会の挨拶をし、定期大会は終了した。

次いで、平山直樹大阪府第3支部連副会長の乾杯で始まった懇親会は、参加者一同歓談し盛会のうちに散会となった。(和田秀幸)

滝実後援会

◆平成22年8月20日(金) 飛鳥荘(奈良市)

【来賓】

大村恵美子 近畿税理士政治連盟副会長
東口 哲夫 近畿税理士政治連盟
奈良県支部連合会会長

税理士による滝実後援会定期大会が開催され



土居後援会会長(左)と滝実議員

司会を務めた安村量平幹事長から報告事項として、中永敏夫後援会会長が体調不良のため6月30日付にて税理士会を退会された旨の報告があ

り、安村幹事長も辞任する意向を表明した。

議事に入り事業報告・会長退任に伴う役員改選等、全議案を可決承認。新役員として選任された土居三良右衛門後援会会長、濱田武利幹事長は、それぞれ就任の挨拶を述べた。

◆ 土居三良右衛門 新会長 挨拶

滝実議員のご尽力で平成9年地方自治体の外部監査人への税理士登用が実現した。滝議員は真の税制通であり税理士業界にとって頼りになる存在である。会員一同結束して後援したい。

◆ 濱田武利 新幹事長 挨拶

土居会長を支え中小企業と納税者を含む我々の要望を国政に届けるため後援会活動の運営に当る。会員増強、会員相互の交流・親睦を図り税政連活動を発展させたい。

◆ 大村恵美子 近税政副会長 挨拶

税理士制度に影響を及ぼす公認会計士制度の見直し等の動向に対し日税連、日税政は意見表明を行っている。税政連活動への積極的な参加と会費収納にご協力をお願いしたい。

(大村恵美子)

高市早苗後援会定期大会

日 時 平成22年8月21日(土)
場 所 信貴山のどか村 会議室
来 賓 高市早苗 衆議院議員(近畿比例)
井戸本泰次 近畿税理士政治連盟
幹事長



武野後援会会長(左)と高市早苗議員

税理士による高市早苗後援会定期大会が平成22年8月21日に開催された。

◆ 武野勝文 会長 挨拶

定期大会を開催したところ、多くの会員に参加頂き感謝している。高市早苗議員にはこれからも国政の場で活躍していただきたい。今後の会員のご支援をお願いする。

◆ 井戸本泰次 近税政幹事長 挨拶

民主党政権になって税政連から提出した多くの税制改正要望項目が通過した。これから税理士会・税理士政治連盟が中心に働きかける税理士法改正は政治主導で行われるので政府三役(大臣・副大臣・政務官)の重要性が増している。さらに法改正は予算と違い衆議院、参議院両議院の通過が必要であり、与党、野党を問わず国会議員にその内容を理解して頂く必要がある。各国会議員の後援会で勉強会を開催し税理士法改正14項目の中身を充分理解して、国会議員に進言してもらいたい。これから若い税理士が仕事をしやすく、税理士の組織が強化される環境を整えて頂きたい。

◆ 高市早苗 衆議院議員 講演会

『日本の科学技術水準と科学立国としての日本のあるべき姿』

日本の科学技術レベルはトップレベルであるが、国際競争力評価はあまり高くない。今年のトータル順位は58カ国、地域の中で27位である。強い指標では、企業が持続可能な成長を重視している指標は1位。環境技術評価は2位。弱い指標は携帯電話料金が低い、外国語スキル能力が低い。外国ではイノベーション、研究開発に力を入れている。これからは科学技術予算を着実に増やさなければ諸外国から取り残されることになる。日本の本当の競争力を伸ばすことが大切なのではないか。

今の日本に何が必要か⇒長期にわたって科学技術政策に携わってきて異なることとの融合が必要であると理解した。トータルでアーキテクチャー設計ができるようになるのが大事であり、水ビジネスもアフターケアメンテナンスも含めたトータルのビジネスモデルで世界に出ていかなければならない。オープンイノベーション

ンの考え方を拡大し、異業種が力を合わせてビジネスモデルを作る環境が整わなければならない。海外の研究者との交流から新たな技術が生まれる可能性がある。優れた能力を伸ばせる教育を推進するべきである。

イノベーションでは、内部を変革していく、つまり新しい価値を加えて、技術革新を行い世の中に普及する際に妨げとなる法制度の改正等その他を克服しなければならない。

今後も科学技術担当大臣を経験した政治家のライフワークとして、国民生活に重要なイノベーション政策に重点をおいて打ち込んでいくつもりである。

◆ 高市先生を囲んでの懇親会は参加者を増やすお楽しみ会

定期大会の後、バーベキュー大会、そばうち教室、陶芸教室等で税理士会員及び事務所職員、家族は一日を楽しんだ。暑さを吹き飛ばす、後援会事業に出席動員をかける定期大会の新しいスタイルである。(黒田有紀)

中野寛成後援会定期総会

税理士による中野寛成後援会第4回定期総会が8月27日ホテルアイボリーにおいて開催された。

来賓として中野寛成衆議院議員、池田隼啓日税連会長、平安式作近税会副会長、近税政本部より南出力利会長、佐野吉延副会長、井戸本泰次幹事長、近税政大阪府第3支部連より上西通氏会長、小島隆豊能支部長の出席があった。

関谷洋子幹事の司会により開会し、来賓紹介の後、村木眞志後援会会長から「私が後援会会長となって、初めて現職の中野議員を迎えての総会となる。中野議員には我々の永年の悲願であったオーナー課税の廃止に向けて大変なご尽力を頂いたことに対してお礼を申し上げたい。民主党税理士制度推進議員連盟の会長として、今後とも活躍を期待する。我々は中野議員をこれからも後援会をあげて応援する」と挨拶があった。



村木後援会会長(左)と中野寛成議員

続いて金田義一副幹事長が議長に選出され、議案の審議に入った。議案は後藤房二後援会幹事長から説明があり、すべて原案通り賛成多数で承認可決された。

議事後の来賓の祝辞では、池田会長から「日税連総会議案書の第一に掲げた税理士法改正には一丸となって取り組みたい。規制改革に関連したことも含めて中野議員にはお願いしたく、また拳会一致で応援したい」と挨拶があり、南出会長からは「税理士制度に深い理解のある中野議員を盛り立ててこれからも活発な後援会活動を期待する」と挨拶があった。

来賓挨拶の後、村木眞志後援会会長から中野寛成議員への要望の陳情が行われた。

赤井良男後援会副会長の閉会の挨拶で総会は終了した。

総会後に行われた国政報告会では民主党代表選挙の情勢と国会運営、経済、財政などの話と共に、民主党内に税制改正プロジェクトチームが発足し、座長として活動することとなったので期待に応えられるよう頑張りたいと報告があった。

村木後援会会長の挨拶で開会した懇親会では後藤後援会幹事長の司会の下、平安近税会副会長、佐野近税政副会長、上西第3支部連会長、小島第3支部連豊能支部長から来賓の挨拶、井戸本幹事長による乾杯の音頭の後、中野議員への質疑応答も活発に行われ、稲垣一則後援会副会長の中締挨拶により盛会の内に閉会した。

(井関孝之)

猛暑で減量…のはずが

今年の夏は異常に暑かった。いや、熱かったと言っていいかもしれません。

暑いと食欲が無くなり、汗もよくかくので、このごろ気になっていた体重も減らせるかもしれないとひそかに期待していました。ところがこの猛暑でも意外に食欲は無くならず、汗はよくかくのですが熱中症が怖くてそれ以上に水分も取っているためか、体重・体型は相変わらずです。

40歳を過ぎた頃から何となく腰の回りがもたつき始め、自分が写った写真を見ると顔にも締まりが無くなってきているなあと危機感を持ってはいたのですが、毎日の仕事に忙殺？されていると、ダイエットのために何かをしようという気になれず、遅い時間に帰宅してもとりあえず発泡酒、ちょっとつまみにスナック菓子や乾き物、結婚10年目にして10kg増。10年前の結婚式の写真を見た娘が、「ママは違う人と結婚してたん？」と聞いていたらしく、ちょっとショックでした。

男性は結婚すると、女性を奪い合う必要がなくなるという安心感から脳内のテストステロンの分泌が減り、太りやすくなるのだそうです。ということはこの腰回りのもたつきは、僕がものすごく誠実であるという証拠ではないか！と妻に言ってみたところ、今さら誠実でなくてもいいから痩せる努力すれば？と言われました。

これから食べ物のおいしい季節を迎え、飲み会の回数も増えるので、ダイエットは当分お預けとなります。どなたか、ストレスを溜めずに出来るダイエットをご存知でしたら是非教えてください。宜しくお願いします。

(下京支部 笹井雅広)



公明党大阪府本部「政策要望懇談会」

8月10日、関西公明会館において、公明党大阪府本部の「政策要望懇談会」が開催された。

公明党からは白浜一良参議院議員、北側一雄前衆議院議員をはじめ多数の国会議員等が出席し、当連盟からは南出会長、井戸本幹事長以下9名の役員が出席した。

懇談会では税理士法改正について「税理士法改正に関する意見(案)」をもとに業際問題及び資格制度について意見交換を行ったほか、平成23年度税制改正について陳情を行った。



平成23年度税制改正要望が決定

日税政では、7月28日に幹事会を開催し、日税連の「平成23年度の税制改正に関する建議書」をもとに国会議員向けの要望書として11項目を抽出した「平成23年度税制改正に関する要望」を機関決定した。

この中で次の各項目が重点要望項目とされている。

1. 給与所得控除額の上限定額(建議項目1)
2. 交際費課税における交際費等の範囲を見直し

等(建議項目9)

3. 更正の請求期間の延長(建議項目22)
4. 納税者権利憲章(仮称)の制定(建議項目23)
5. 番号制度の導入(中期的な視点からの検討課題)

要望は、「日本税政連第461号(8月1日号)」または、近税政ホームページ(<http://kinzeisei.jp/library.html>)参照

近税政本部のうごき

- 国対・選対・後援会対策合同委員会(7月13日)
 - ・第44回定期大会・国政報告会・懇親会の開催に関する件
 - ・第44回定期大会提出議案の作成に関する件
 - ・その他
- 政策・財務・組織合同委員会(7月20日)
 - ・第44回定期大会・国政報告会・懇親会の開催に関する件
 - ・第44回定期大会提出議案の作成に関する件
 - ・その他
- 平成22年度・第1回正副幹事長会(7月26日)
 - ・第44回定期大会・国政報告会・懇親会の開催に関する件
 - ・第44回定期大会提出議案の作成に関する件
 - ・その他
- 平成22年度・第1回幹事会(7月26日)
 - ・第44回定期大会・国政報告会・懇親会の開催に関する件
 - ・第44回定期大会提出議案の作成に関する件
 - ・その他
- 平成22年度・第1回総務会(7月26日)
 - ・第44回定期大会・国政報告会・懇親会の開催に関する件
 - ・第44回定期大会提出議案の作成に関する件

- ・その他
- 会計監査(8月9日)
- 第44回定期大会・国政報告会(9月6日)
- 平成22年度・第2回広報委員会(9月13日)
 - ・機関紙第177号の批評
 - ・小委員会による検討
 - ・機関紙第179号の編集企画に関する件
 - ・その他

銀河系

民主党は菅直人首相の代表再選を決めた。「衆院の残り三年間の任期を念頭に本格的な日本経済の立て直しに取り組みたい」と述べ、国民に期待を抱かせた。国内外に問題は山積している。強力な指導力を発揮して日本丸の舵取りを願いたい。

我が近税政では第44回定期大会において全ての議案が承認可決され、新たな年度に入った。今年度税理士会の最重点施策は税理士法の改正である。池田日税連会長の「将来の税理士制度に禍根を残すことのないように、時代に即応した社会制度として認められ、多くの若者が夢と希望をもってこの業界を目指す受け皿を作りたい」との意見に我々の未来を託したい。

(村木眞志)